

第六十四回
帝國議會
貴族院

米穀統制法案特別委員會議事速記録第八號

昭和八年三月二十日(月曜日)午前十一時
十五分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會イ
タシマス

○内田重成君 大臣ガ御出席ニ相成、テ居
リマスノデ、私ハ大臣ニ少シ御伺イタシタ
イト思ヒマス、此統制法ノ施行期ニ付キマ
シテ、昭和八年ノ產米カラ統制スル考デア
ルト云フコトニ、衆議院デ御答辯ニ相成、
テ居ルヤウデゴザイマス、此法ガ宜シイト
シテ成立イタシマシタナラバ、昭和八年末
ヲ待タズトモ、即時施行スルコトニ御手配
ガ出來得ナイモノデアリマスカ、少シ早目
ニ之ニ關聯スル勅令等ヲ御作リニナルナラ
バ、本年度ノ產米ニ對シテモ此法案ノ適用
ヲ爲シ得ルノデヤナイカト自分ハ考ヘルノ
デアリマス、之ヲ宜シイモノトシテ法律案
ガ成立シタナラバ、本年末マデ待ツニハ及
バスノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマスガ、
其點如何デゴザイマセウカ、御考ヲモウ一
度伺ヒタイト思ヒマス

スガ、新統制法ガ宜イモノト決マリマスレバ、
一日モ早ク實施シタイノデアリマスガ、昭和
八年產米バカリデナク、昭和七年ノ產米モソ
レニ掛リ得ルヤウニ進メタラ宜イデヤナイ
カト云フノハ、一應御尤ト思ヒマス、併シ第一
ニハ此手續ノ點ガ非常ニ掛リマス、勅令、命
令其他ノ事柄ヲ定メマス同時ニ、是ニモ亦
相當ニ日子ヲ要スルノデ、可ナリ細カイ所
モ決メテ掛ラネバナリマセヌ、ソレカラ殊ニ
生產費ノ調査其他ニ付テハ、衆議院ノ希望
モアリマスシ、我々モモウ少シ今度ノ項目
以外ノモノヲ考ヘテ見タイ、研究シテ考ヘ
テ見タイト云フ積リデ居リマス、所ガ米ノ
生產費ノ調査ハ大概四月頃カラ始マリマシ
テ、十一月一杯迄位ニ出來上ルヤウニナッテ
居リマス、是ハモウ實地ノ調査ヲスル農家ガ、
ズツト其都度記帳ヲシテヤッテ行、テ居ルヤ
ウニナッテ居リマス、ソナコトデ其新ラ
シイ調査法ニ從、テノ調査ハ、昭和七年ノ產
米ニ付テハモウ繰返シヤウガナイノデアリ
マス、昭和七年マデノ產米ノコトニ付テハ、
今迄ノ米穀法ガ大體適用サレテ參、テ居リ
マスノデ、ドウモサウ云フ基本ノ數字ニ付
キマシテモ、昭和八年產米カラデナイト出

來ナイモノガアリマス、ソレカラ事務所
等モ今度大分各地ニ増設ヲ致ス積リデア
リマス、サウ云フコトニモ矢張り開設マ
デニ相當ノ日子ヲ要シマスルシ、此新統
制制度ノ本旨トスル點ノ大部分ヲ實行スル
コトハ、矢張り本年ノ十一月位カラ後デア
リマセヌト、事實上手廻リガ出來兼ネルノ
デアリマス、サウスルト昭和七年產米ニ溯
テ、成ルベク早クト云フ事柄デヤリ得ル事
柄ト云フモノハ、マア殆ド今ノ現行米穀
法ノヤッテ居ル位ノ程度ニシカヤリ得マセヌ
譯デアリマス、是ハ理論ノ問題デナクシテ、
實際ノ仕事ノ運びノ順序ガ已ムヲ得マセヌ
ノデ、何分ニモ是ダケノ新シキ大規模ノ仕
事デアリマスカラ、矢張り法案ノ議會通過
後、今年ノ末頃マデノ日子ヲ御與ヘヲ戴カ
ナケレバナラスト云フ實情ニアリマスノ
デ、御諒承ヲ願ヒマス

○内田重成君 了承シマシタ、別ノ點デ御
尋ネシマスガ、法案ニ依、テ色々最低價格
及最高價格ヲ公定シテ告示ヲスルト云フコ
トニ相成リマスガ、此最低價格以下ノ賣買
ハ之ヲ禁止スルマデノ強イ御考ハ無イモノ
デゴザイマセウカ、一體是ハ少シ突飛ナヤ
ウデアリマスケレドモ、最低價格以下ニ於
テモ賣買スルコトガ出來ルヤウナ自由ヲ認
メテ居リマシテハ、折角此告示ヲサレマシ
タ公示價格ト云フモノガ、徹底的デナイヤ
ウナ氣持ガスルノデアリマス、ソレデ私ハ
マア簡單ニ申上ゲルノデアリマスガ、最低
價格以下ニ於テノ賣買ニ付テ、是ハ自由取
引ニ委セルト云フコトニ致スヨリ外ニハ仕
方ガナイモノデアリマスカ、ソレマデノ規
定ヲスルコトハ不當デアル、又ハ宜シクナ
イト云フコトニ付テノ一ツ御意見ヲ承リタ
イ

○國務大臣(後藤文夫君) 只今御尋ノ點ハ
我々モ十分ニ研究ヲ致シマシタ事柄デ、又
米穀統制ニ關スル調査會ノ經過ニ於キマシ
テモ相當ニ考究サレタ問題デアリマス、苟
モ公定價格ヲ定メルト云フ以上ハ、最低價
格以下ノ賣買ヲ禁止、最高價格以上ノ賣買
ヲ禁ズル、法制ヲ以テ禁止スル、從、テ其禁
令ヲ犯ス者ニハ罰則ヲ以テ臨ム、斯ウ云フ
コトニシナケレバ公定ノ力ガ弱イデハナイ
カ、又公定ノ力ハ此經濟力ノ運用ニ依、テ相
當ニ出來ルトシテモ、ソレダケノ又制裁ヲ
付シタ強制ノ規定ヲ置クコトハ、此公定價

格ヲ維持スルノヲ助ケルモノデハナイカ、何レカラ見テモ強制ノ規定ヲ置イタ方ガ宜イデハナイカト云フ議論ハ大分交換サレタ事柄デアリマス、併シ研究ノ結果ハ、法制ヲ以テ強硬のニ公定價格ノ範圍外ニ出タ賣買ヲ禁止スルト云フ事柄ハ、凡ソ二ツノ大キナ難點ガアル、一ツハ煩ニ堪ヘナイ、徒ニ唯犯則者ヲ出スト云フダケデアッテ、サウシテ實際ノ場合ニ於テハ其犯則ノ全部ヲチ、トモ壓ヘルコトガ出來ナイ、要スルニ其實上、賣渡ト云フヤウナ方法ニ依ッテ全體ノ米價ニ適當ナ影響ガ行クト云フコトヲ以テ満足スル以外ニ、法制ノ力ヲ以テ犯則者ヲ追廻スト云フコトハ何程ノ效果ヲ加ヘルモノデナイト云フコトガ一ツト、ソレカラ今一ツハ實際ノ場合ニ犯則ト云フコトヲ決定スルコトハ非常ニ困難デアル、個々ニ賣拂ウタ米ニ付テ、ソレガ公定價格ヲ割ッテ賣リ方デアッカドウカト云フコトハ、米ト云フモノノ實際ノ事情ハ非常ニ違フ、公定價格ヲ決メマスケレドモ、ソレハ標準ノ中米ノヤウナ所ニ公定價格ヲ決メテ、色ミナ是ニ格差ノ附イタ各種類ノ米ニ付テ公定價格ガ定マルノデス、併ナガラ實際ノ取引ヲ個々ニ商人ガスル時ハ、其米ニ付テ色ミ少シ傷ンデ居ルトカ、或ハ蟲ガ附イテ居ルトカ云	フコトガアレバ相當ノ割引ヲシテ之ヲ賣ルト云フコトガ起ルノデアリマス、サウ云フモノヲ一々犯則デアルカ、犯則デナイトカト云フコトヲ認定スルコトハ實際ノ場合ニハ實ニムヅカシイコトニ相成ッテ來ル、デ要ハ矢張經濟力ニ依ル價格ノ統制ガ出來ルト云フコトヲ以テ満足スル以外ニ、法制ノ力ヲ以テヤルト云フ事柄ハ、格別效果ナクシテ、サウシテ非常ニ煩雜デアル、却テマア或ル人達ガドウモ困ッテ自分ハ相場ハ幾ラデアッデモ、違犯者トシテ唯押ヘルト云フコトニ相成ル、大體公定價格ニ依ッテ經濟的ニ統制ヲサレテ、標準ノ相場ガソレ以外ニ變ラヌト云フコトニナッテ居リマスレバ、アトハソレニ追隨シテ行ケバ、各人ノ間ノ米ノ取引ト云フモノハ自然ニ色ミナ特別ナ事情ニ依ッテ、金ガ欲シイト云フコトナレバ自然安ク賣ルコトモアリマセウシ、サウ云フモノヲ一々押ヘテ掛ルト云フコトハ、寧ロ實情ニ適セナイト云フヤウナ結論カラ、是ニ強制ヲ加ヘルト云フコトヲ止メタノデアリマス、實際ノ場合ニ運用シテ行ク時ハ、先ヅサウ云フモノナシヤルト云フコトガ、奏シ得ル效果ト云フモノガ、私ハ先ヅ十分ト今日ハ考ヘテ宜シクハナイカ、唯非常ニ米
ガ不足シテ無闇ニ暴騰スルヤウナ場合ニ、暴利ヲ貪ル爲ニ賣ルト云フヤウナ不都合ナ處置ノ行ハレル時ニハ、特別ナ強制的ノ制度ヲ設ケルト云フコトモ必要カモ知レマセヌ、サウ云フコトヲヤラウトスルナラバ前提トシテハ國家ガ又米ヲ管理スルナリ、強制徴收スルナリ、統制ヲ確保スルダケノ強制ガ行ハレナケレバナラヌ、サウ云フ事態ニ若シ臨ムトスレバ、其時ハ又其時ノ處置ヲ考ヘナケレバナラヌ、デ此統制案ニ於テハ、強制的方法ヲ用キナイコトヲ適當トスルト云フヤウナ結論ニ達シタノデアリマス、大體左様ナ譯デアリマス	大ナ關係ノアル其點ニ付テ、此統制法ニ規定サレテ居リマスル以外ニ、當局ノ協調ニ依リ善處スルト云フコトニ終ッテ居ルヤウニ思ハレル、内地及鮮灣ノ關係ニ於キマシテハ、各立場ヲ異ニシ、利害ヲ異ニスル、將來其關係ヲ律スル爲ニ、本統制法ダケデ十分デアルト云フコトニ御考ヘニ相成リマスカ、御説明ノ如キ此兩者ノ協調主義ハ、是ハ將來當局者ヲ異ニ致シマシタ場合ニハ、現在ノ如キ其協調ノ持續ガ出來ナイノデヤナイカト云フコトヲ私ハ恐レルノデアリマス、又必ズヤ此問題ニ付テハ、鮮灣住民ニ依ッテ、或ル時代ニハ相當ナル意見モ生ジテ來ルト思フ、デ其關係ヲ御話ノ如ク協調主義ニ依ッテ善處スルト云フコトダケデ、今日ハ満足ヲセナケレバナラヌモノデアリマスカ、今少シク其點ニ付テ法制上ノ規定ヲ設ケテ置クト云フコトハ、出來ナカッタモノデアルカト云フコトヲ御伺シタイト思ヒマス ○國務大臣(後藤文夫君) 只今御話ノ點ニ付キマシテモ、米穀調査會等ニ於キマシテ可ナリ論究サレタ問題デアリマス、結局今日内地、朝鮮、臺灣ヲ打ッテ一丸トシタ帝國領土内デ統制ヲ致シテ行カナケレバナラヌト云フ場合ニ、朝鮮ト臺灣ト内地トノ間

ノ協調ノ力ニ依リテ、出來ル限リノ統制ヲ圖テ行クト云フ事柄ガ、マダ今日試ミラレルベクシテ十分ニ試ミラレテ居ラナイ點ガ可ナリ殘ラテ居ルノデアリマス、之ヲ出來ルダケ一ツ能クヤッテ見タラドウカト云フコトガ、調査會等ニ於テモ切實ニ希望サレタ點デアリマス、政府ニ於テモ左様イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ進ンデ色ミナ方策ガ人ミノ意見デ現ハレハ致シマシタケレドモ、其實之ヲ實行ヲスルト云フ問題ニナリマスレバ、單ニ運用ノ上ニ支障ガアルト云フノミナラズ、全體ノ帝國内ノ政治ト云フ關係カラ見マシテモ、餘程考慮シナケレバナラヌ問題ガ生ズル虞レガアリマス、旁、今日ノ場合ニ於テハ、内地、植民地ノ當局者ノ間ニ於テ誠意ヲ以テ十分ニ、是マデモ考ヘテ居リマシテヤラムト欲シテヤリ得ナカッタ事柄ヲ、段々ト實行シテ見ルト云フコトニ力ヲ注イデ參ルト云フコトガ、一番先ヅ今ノ所適切ナコトデアアル、斯ウ云フ考デ居ル譯デアリマス

マシテハ、是ハ一般的ニ規定ハシテアリマスルケレドモ、主トシテハ朝鮮ニ適用サレル規定デアルヤウニ思ハレル、御承知ノ如ク朝鮮デハ米ノ代リニ粟ヲ食フ、ソレニ依テ米ヲ餘シテ内地ニ賣ルコトニシテ居ル、此統制ノ爲ニ斯ノ如キ規定ガ出來テ居ルノデアラウト私ハ考ヘル、先般衆議院ニ於キマシテ拓務當局ハ、朝鮮ニ於テモ出來ルダケ此粟食カラ米食ニ移ルヤウニ獎勵ノ方法ヲ講ジタイト思フト云フコトヲ述ベテ居ラレル、斯様ニシテ鮮人ヲ贅澤ニ導ク、又其一面ニ於キマシテハ、米食ニ移シタ結果、鮮人ノ收入ノ大要素ヲ爲ス所ノ米ノ食ヒ延バシニ依ッテ得ル收入ヲ減ズル譯ニナリマスノデ、其結果ガ或ル場合ニ於キマシテハ累ヲ將來ニ遺スヤウニ結果付ケハセヌカト云フコトヲ恐ル、ノデアリマス、是ハ唯一時的ニ此内地米ニ對スル鮮米ノ壓迫ノ統制カラシテ、斯ノ如キ方針ヲ立テ、鮮人ノ粟食デ生活ノ出來ルモノヲ米食ニ轉向サス、成程生活上ト云フヤウナコトカラ申セバ一ツノ理窟ガソコニ立ツカモ知レマセヌガ、其結果ガ或ル時機ニ於テ恐ルベキ結果ニナリハセヌカト考ヘルノデアリマス、是ハ農林大臣ノ御主掌デハナイヤウデアリマ

スガ、此統制法ノ八條、九條ヲ御詮議ノ際ニ、ソレ等ノ問題ニ付キマシテモ觸レラレタ問題ト思フ、一應其點ニ付キマシテノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 只今ノ御質問ハ關係ノ深い當局ノ方カラ御答ニナッタ方ガ適當デアルカモ知レマセヌガ、私ノ存ジマ

スル限リ御答ヘ致シマス、朝鮮ニ於ケル農民其他一般ノ人ガ粟ヲ常食トシテ居ル者ガアリマス、殊ニ農民デ粟ヲ食ベテ米ヲ賣ッテ居ルト云フ者ガ少ナクナイノデアリマス、其買フ粟ト賣ル米トノ値ノ距離ト云フモノハ、多少大キイ場合モアリマスケレドモ、極メテ少ナイモノガ少ナクナイヤウデアリマス、デ寧ロ單純ナル經濟の見地ト云フバカリデナク、一ツハ習慣カラモ參テ居ルヤウデアリマス、サウシテ細カニ申セバ長クナリマスルガ、色ミナ農村ニ於ケル經濟事情、米ノ賣買、資金ノ融通ト云々ヤウナ色ミナ經濟事情カラ、米ハ一般商品、殊ニ内地ニ向フ商品ニ適スルガ爲ニ、米ガ多ク賣出サレテ、粟ガ代リニ這入ッテ來ルト云フヤウナ形ガ、相當ニ見受ケラレルノデアリマス、之ニ粟ノ關稅ヲ増減スルトカ、或ハ粟ノ輸入ノ制限ヲスルトカ云フ事柄ハ、單リ内地ノ米ノ問題ダケデナク、朝鮮ノ米ノ生産者ノ側カラ見マシテモ、相當ニ考慮サレ

ナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマシテ、朝鮮ノ當局ノ立場カラ申シマシテ、朝鮮ノ産業政策、朝鮮ノ一般ノ統治ノ上カラ申シテモ、粟ノ關稅ノ増減免除ヲシタリ、又必要ナル場合ニ、是ハ常ニヤルノデゴザイマセヌケレドモ、帝國領土内全體ノ米ノ需給調節ノ見地カラ、已ムヲ得ズト認メラルルヤウナ場合ニ、粟ノ制限ヲスルト云フヤウナコトガ寧ロ適切ナ處置デアアル、之ガ爲ニ朝鮮ノ農民等ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘルト云フヤウナ虞レハナイモノデアルト云フヤウナ見地カラ、左様ナ制度ヲ立テルコトニナッテ居ルノデアリマス、御懸念ノ如キ場合ハ、色ミナ誤解デ色ミナコトヲ申ス者ガサウ云フ感じヲ人ニ懷カセル、サウ云フコトモアリマセウケレドモ、實際ノ問題トシテハ、サウ云フコトガ大シテ懸念ヲサレベキ事柄デナクシテ、寧ロ全般ノ朝鮮ノ米生産者ノ産業政策ノ見地カラスレバ、適當ナコトデアラウ、斯ウ考ヘラル、ノデアリマス

○内田重成君 此現行法ハ法律ノ中ニ米穀委員會ト云フモノヲ認メテ居ル、即チ米穀生産費ハ米穀委員會ニ諮問シテ之ヲ定メルト云フ規定ガアリマシテ、米穀委員會アルモノハ此法律カラ生レ出テ居ルモノト見テモ宜シイ、ソレ以前ニ出來テ居リマスルモ

ノニシテモ、此委員會ナルモノヲ法律ガ認
メテ居ル、所ガ此統制法ニ於キマシテハ、
斯ノ如キ規定ガ御テアル、又此施行勅令
ノ規定要項トシテアリマスル施行勅令ノ中
ノ事項ヲ見マシテモ、此委員會ナルモノノ
規定ガナイノデアリマス、先日來大臣ハ當
席ニ於テノ御話ノ中ニ、委員會ト云フ御言
葉ガアツタノデ、或ハ將來モ是ハ殘サ
ルモノカトモ考ヘテ居リマス、ソレハ如何相
成ルノデアリマス、又其權限等ハ矢張り、
殘サレモト致シマスレバ、現行ノ委員
會ト同ジ性質ノモノデアリマス、其點ヲ
一ツ伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 大體御話ノ通り
ナ積リデ居リマス、統制法ニ委員會ヲ設ケ
ルコトニ相成テ居リマシテ、其委員會ノ職
掌ハ現在ノ委員會ト略ボ同様ナモノト考ヘ
テ居リマス、唯新統制法ハ今ノ米穀法ト違
タ條項ガアリマスルカラ、自ラソレニ準ジ
テ重要ナ事項ガ矢張り委員會ニカケラレ
ト云フコトニ相成ル積リデアリマス

○内田重成君 私ガ申スマデモナク、我國
ノ農家ノ主業ハ米作デアッテ、此米作ノ收穫
利益ニ依テ農業者ハ生活スルコトガ出來
ル、從ッテ此米價ノ高低ニ拘ラズ、米ノ產額
ガ多ケレバ多イ程其農民ノ收益ハ増加スル

ノデアアル、詰リ個人々々ノ懷中勘定トシテ
ハ工合ガ好イ、所ガマア近來ノ狀況カラ見
マスルト、先日モ御話ガゴザイマシタヤウ
ニ、此米ノ増產ニ付キマシテ稍、之ヲ呪フ
ヤウナ傾向ガアルノデアリマス、併ナガラ
此米ガ餘計出來マススト云フコト、多量ニ取
レマススト云フコトハ、非常ニ此農家ノ人氣
ニモ關係スル問題デ、米ガ餘計ニ產出イタ
シマスレバ、小作爭議ナドモ起ラス、又地
方ノ人心モ融和スルノデアリマス、デ將來
此國營トシテノ増產計畫ナドハ別ト致シマ
シテモ、此多收穫ノ獎勵ト云フモノハ、農
家ニハ之ヲ必ズ爲サナケレバナラヌト私ハ
思ッテ居ル、デ餘計ニ米ノ出來ルト云フコト
ヲ呪フヤウナ口氣ヤサウ云フ考ハ、是ハ極
メテ善クナイコトデアルト思フ、田舎ニ居
リマシテ見マスルト、近頃ハ祈年祭デア
ルカ其他五穀祭デアルトカ云フ御祭ニモ、
農會アタリノ極メテ關係ノ深イ者デサヘモ
御詣リスル者ガ少ナイ狀況ニナッテ居リマ
スルガ、ドウモソレハ極クイカヌコトデア
ルト思フ、此點ハ主要食糧タル米ノ自給自
足ノ方針ニモ大關係ノアル問題デア
ル、將來國ト致シマシテモ、個人々々ガ米ノ產出
ニ付テハ努メテ多量ニ產出スルヤウニ、多
收穫ノ獎勵ハ矢張り爲サナケレバナラヌモ

ノデアルト云フコトニ考ヘルノデアリマス
ガ、ドウモ米ガ餘計出來テ却テ困ルト云フ
ヤウナ風ナ口氣ヲ用キル者モ多イヤウデア
リマスガ、是ハ如何ナルモノデアリマセ
ウカ、一ツ極ク其點ニ付テ農林省トシテノ
確平タル方針ヲ一ツ御示シ下サルコトヲ希
望スルノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 多收穫ガ同時ニ
生産費ノ寧ロ低下トナッテモ、農民ノ利得
ヲ豐ニスルト云フヤウナ結果ニ相成リマス
ル多收穫ハ、大體ニ於テ獎勵ヲシテ宜シイ
コトデアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ又
一面一ツノ農作ノ努力研究ノ刺戟トシテ、
兎ニモ角ニモ一段歩カラ七石デモ八石デモ
取レルト云フ實例ガ方々ニ出ルコトモ、是
モ必シモ惡イコトデナイ、非常ナ一種ノ農
業ノ進歩研究努力ト云フモノニ對スル面白
イ刺戟ヲ與ヘルコトデアルト思フ、是モ
我ニハ決シテ反對デナイ、デ唯此米ガ多ク
出來過ギテ困ルトカ困ラヌトカ云フ問題ハ、
其個々ノ農家デ個々ハ段別ニ付テ考ヘル所
ニ適用サレル問題デアリマセヌデ、全體ト
シテノ生産計畫等ニ付テノ問題デアルト思
フノデアリマス、デ農家ガ非常ニ精農デア
テ、自分ノ努力勤勉工夫ニ依ッテ、同ジ條
件ノ下ニ於テ而モ多量ノ收穫ガ擧ガルヤウ

ニ努力スルト云フコトノ此精神ヲ、私ハ傷
ツケナイヤウニシナケレバナラヌモノデア
ルト思ッテ居リマス

○内田重成君 私ハモウ一點伺ヒタイト
思ヒマスガ、此現時ノ米價問題ハ農民
側カラ來タ問題デアリマスルガ、畢竟農
民ノ收入ト支出トノ平衡ヲ得ザル爲ニ、
生活上ノ大脅威ヲ受ケタ結果デアルト
思フ、收入支出ガ、均衡ヲ得テ參リマス
ルナラバ、米價ガ安イカラト云ウデ農
民ハ苦情ヲ言ハヌ、ソレデア
ルカラ此米
價問題ト云フモノハ、絶對的ノモノデハナ
イ、畢竟收入支出ノ關係ニ於テ苦情ガ出
ルノデアリマス、ソレデ統制案其モノハ、是
ハ正面カラハ米價調節ノ案デアリマセウ
ガ、此側面カラ一ツ調節スルト云フ途ヲ考
ヘナクテハナラヌト思フ、其側面調節ト致
シマスルノハ、矢張り今ノ農民ノ收入増加
ト云フ方法デアルト思フ、マアソレニハ消
極ト積極ト兩方アリマセウガ、第一ニ此農
民ノ負擔ノ輕減ト云フコトガ是ハ最モ大切
ナコトデアアルコトハ、申ス迄モナイと思フ、
農民ノ負擔ガ輕減サレマスレバ、從ッテ收入
ト支出トノ平衡ヲ取り得ル一ツノ方法ガ付
ク譯デア
ル、其外ニ積極的ニ副業ノ獎勵ト
云フコトガ是ハ必要デア
ル、所ガドウモ此

副業ヲ獎勵シマシタ結果ハ何時デモ生産過剩トナルト云フノデ、多クノ場合ニ獎勵サレタ農家デハ、副業ニ依ッテ却テ損害ヲ受ケルト云フ者モ往々ニシテアル、又其副業ナルモノガ長續キハセヌ副業ガ多イノデアリマス、マアソレニ付キマシテハ色ミ農村當局ニ於テモ御心配ニ相成テ居リマスルガ、私ハ此點ハ一ツ非常ナ御英斷ヲ願ハナケレバナラスト思フ、是ハ唯農林省一ツノ問題デハナイノデアリマスガ、第一其負擔ノ輕減ト云フコトニ於キマシテモ、何レ地方稅整理等モアリマセウト思フ、副業ガ有效ニ農村ニ於テ成立スルト云フ爲ニハ、副業ニ依ッテ生産シタル所ノ農産物等ノ賣捌キ方ニ付テ、成ルベク有利ナル消費地ヲ農村附近ニ求メルト云フコトガ必要ニナル、マアソレニ付キマシテハ、是ハ根本問題トシテハ一大革新ヲナサナケレバナラスト問題デアルト思フ、農村附近ニ成ルベク此消費地ヲ多ク仕立テルト云フコトガ必要デアラウト思フ、其爲ニハ是ハ遂ニハ及ボシテ現在ノ一大弊根デアル都市集中ヲ抑壓シテ、成ルベク地方ニ總テノ文化機關其他ヲ分布スルト云フ、サウ云フ大キナ問題ニマデ及バヌケレバナラスト思フノデアリマス、此點ハ私ハ別ニ只今大臣ノ御答ヲ得マセヌデモ宜

シウゴザイマス、唯私希望ヲ申上ゲテ御願ヲシテ置ク譯デアアル、斯ウ云フ現内閣ノ如キ、極メテサウ云フ大政策ノ御實行ニ便利ナ内閣ノ存續スル間ニ、私ノ只今申述ベルヤウナ大キナ方針ヲ一ツ御樹立ニ相成ルコトヲ希望スルノデアリマス、モウ一ツ私ハ序デニ御願ヲシテ置クノハ、後藤大臣ハ非常ニ農村問題ニ付テ先般來御盡力デ、是ハ齊シク國民ノ、殊ニ農村方面ニ於テハ感謝イタシテ居リマスル所デアリマス、ドウカ此御政務ノ差繰ガ出來マスルナラバ、昨年本會議ノ際ニモドナタカ御要求ガアッタヤウデス、大臣ハ少シ地方ヲ時ニハ御歩キナリマシテ、農民ノ實情ヲ御覽下サルナラバ層一層此我國ノ農政問題ガ後藤大臣ノ力ニ依ッテ非常ナ面目ヲ改ムルニ至ルト云フコトヲ期待スル、私其希望ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○國務大臣(後藤文夫君) 農村ノ負擔ノ問題ハ非常ニ重要ナコトデアルト考ヘテ居リマス、此負擔ヲ公正ナラシメ、農村ノ無理ナ負擔ヲ緩和スルト云フコトハ努メナケレバナラストコト思ヒマス、但シ是ハ中央地方ヲ通ジテノ稅制財政等ノ改革ニ關聯スル問題デゴザイマスカラ、是等ノ問題ト共ニ是非十分ナ考究ヲ遂ゲタイト考ヘテ居ル所デアリマス、ソレカラ副業ノ點ニ付キマシテハ、御話ノ點御尤ナコトガアルト存ジマス、是迄ノ副業ヲ獎勵イタシテ其結果副業ガ行ハレル場合、市場ノコトモ十分考ヘラレズ、又全體的ノ生産數量等ニ付テノ計畫モ十分デナクシテ副業ヲ獎勵シテ、ドコニモ此處ニモ同ジヤウナモノガ出來ルト、却テ皆ガ面白クナイ結果ヲ起スト云フヤウナコトモ無イデハナイト思ヒマス、矢張り此副業ノ獎勵ニ付キマシテハ、一面ニハ販路ノコトヲ只今御話ノヤウニ考ヘ、一面ニハ全體ニ副業ヲ分布スル仕方ニ付テモ、相當統制ノアル計畫の施設ヲシテ參ラナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマス、今後マア那樣ナ方針デ此副業ノ指導獎勵ヲ致シタイト云フ積リデアリマス、ソレカラ最後ノ御勸告ハ誠ニ有難ウゴザイマス、豫テサウ云フヤウナ希望ヲ持ッテ居リマスルガ、何分忙シイ爲ニ實現ガ出來マセヌノデ、今後折ガアリマシタナラバ只今ノ御懇切ナ御勸告ニ從フヤウニ努メタイト思ッテ居リマス

○子爵青木信光君 大分御質問モ盡キタヤウニ思ヒマスノデ、午後ノ再開ノ時ニハ懇談會ヲ願ッテ、速記ヲ止メテ懇談會ニ於テ、此法案ヲドウ云フ風ニ取扱ッテ行クカト云フコトヲ御協議ヲ願ッタ方ガ議事ノ進行上便宜デハナイカト思ヒマスノデ、サウ云フ風ニ願ヒタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 如何デゴザイマセウカ

○阪本鈺之助君 政府ノ方ノ御出席モ御線セテ願フコトモアリマセウカラ……

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレハ今私カラ御話イタシタイト思ヒマスガ……或ハ御懇談ヲ爲サルノニハ、委員會ヲ離レテ委員諸君ガ御懇談ヲ爲サツタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、若シソレデ御贊成ナラバ是デ今日ハ閉ヂテ、サウシテ午後カラハ委員ノ諸君ニ御集マリヲ願ッテ、委員會デナシニ御相談ガアッタ方ガ御便宜ヂヤナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○子爵青木信光君 ソレデモ差支アリマセヌ

○阪本鈺之助君 又必要ガアリマシタラ政府ノ御出席ヲ願フ場合モゴザイマセウカラ、先ヅ今日ハ一ツ此程度デ……

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ是デ今日ハ會ヲ閉ヂマス

午後零時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君

副委員長 男爵稻田 昌植君

委員

侯爵細川 護立君

子爵梅小路定行君

子爵青木 信光君

內田 重成君

太田 政弘君

男爵岩倉 道俱君

阪本 眞平君

松本 眞平君

三橋 彌君

藤原銀次郎君

久米田新太郎君

小林嘉平治君

絲原武太郎君

國務大臣

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

農林省米穀部長 荷見 安君